



香港の上水道工 事に従事して

山沢 忠秀

希望を胸に学窓をでてはや5年、トンネル屋の一員と自認して穴掘りに夢中に過ごしてきたが、まだまだベテランのトンネル屋の足もとにもおよばぬ有様です。

現在、私の従事している仕事は香港の上水道建設工事です。最近内地の新聞や報道機関で広く知られていることと思いますが、香港の水不足はかなり緊迫したものであります。渇水期に入れば3~4カ月もほとんど降雨が無く貯水池の底には草が長く伸びている状態が続くのです。特に今年などはひどく、5カ月間以上もほとんど雨らしき雨もなく6月に入ってから4日おきに3時間という給水制限で、世界でも最も人口密度の高い香港ではどのようにして生活して行くのか案ぜられています。われわれはこの給水状態を緩和するために香港政庁の計画による上水道建設の一期工事を施工しています。

ここでちょっと香港の地形について述べますと、香港というのは大島のような香港島と中国大陸の広東省よりつきでている九竜半島によって代表される所です。いずれも平坦地がほとんど無く山が海岸線へつき出ている谷がきわめて浅く山が無毛のため雨期にはかなりの雨量もあるの
カット写真：名神高速道路舗装工事

ですが降った雨が短時間で海へ流れ出してしまい貯水が全然できず、また、地下水もほとんど無いような所です。われわれの工事は先に述べました九竜半島の山間地帯を縦断する約9300mのメイントンネルとそれに付随した大小8本のシャフトのトンネル工事です。このシャフトは降雨時に増水する谷の水を集めてメイントンネルに送るものです。こちらの土木技術はまだ機械化施工技術の導入されない以前のいわゆる土方にすぎなく当初機械を持って来てはたしてそれを駆使し得るかどうかと心配もされました（というのは労務者は、すべて現地人を使用）。しかし、手取り足取りで教え込みようやくにして最近では成果もだんだんと現われてき、彼らもそれを自分のものとしているのを見ると自分の未熟を忘れて一種の満足感を味わっています。しかし、何しろ言語、生活環境の極端に異なる所ゆえ、かなりの苦勞と努力を必要としました。これは今後もつづくことと思います。

特に私たちは学生時代語学かにかが手のうえおろそかにしていたのでいざ外地へ出されるとその不便を痛切に感づるのです。今後、われわれ土木屋にも海外への道が広く開かれることと思いますゆえ十分に語学（英語）を自分のものにしておきたいものと思ひ、また願うものです。

（筆者：KK組谷組・33年卒業）

橋梁設計者として

高野 祐吉

私は橋梁・鉄骨製作会社で橋梁設計に従事しております。会社内には多くの技術者が各専門分野を担当し総合的技術向上にまい進しております。われわれの立場は製作精度の高い経済的にして美的な橋梁の設計を行なうことにあります。おもな仕事は概略設計・計画設計・詳細設計で内容は誰でもが学校で学んだ設計法を実務として行なっております。ただ製作しやすい構造で正確安全に施

工できることを絶えず念頭において行なっています。工場および現場から適時資料が回ってきますので、消化、吸収して改善に努め、われわれの注文を現場にまで生かすようにし設計と施工の直結を計っております。このへんが製作会社設計陣の強みではないでしょうか。

当社の設計室は最高の技術を設計の中に盛り込むべく環境の整備と設計資料の保管に配慮がなされており温度調節を完備し、明かるい照明の下で各種設計製図器具の完備がなされております。設計資料は数年間原図が直接保管され、それ以前のはマイクロフィルムに撮って分類されております。良い環境の下で美的な精度の高い経済的な設計ができるわけです。しかし一方では悩みもあります。仕事には期限があり、そのために短時日に良き設計をせねばならず納期に追われて時間的余裕のないことです。それは、あるときはあせりとなり、あるときは脅威となります。十分にあらゆる方面から検討を加え疑問点を良く調べ研究し、自分の納得のできる仕事をしたのが人情です。現実には研究すべき問題が起こった場合、大学や研究所等の指導のもとに解決をはからねばいつまでも解明できぬことは不甲斐なく、大学や研究所と協力できる会社研究所ができて、独自でも橋梁技術向上に寄与できる日の早からんことを望んでやみません。

つぎに現在民間の設計者は、われわれのような橋梁製作会社とコンサルタンツにありますが、両者の立場が明確さを欠き同じような仕事を続ける結果となっております。将来両者の立場がわかれお互いに特色のある存在として発展する日を待ち望みます。われわれは良き構造物を作ること努力しその結果でき上がったときに喜びを見出し明日の仕事への活力として生きてゆきます。

（筆者：KK宮地鉄工所技術部第二設計課・31年卒）